vol.111

舞たうん

特集 メディアを活用した地域づくり

メディアに革命が起こった。

かつてメディアはテレビやラジオの向こう側にあるものだった。送り手と受け手が明確に分離され、住民は常にメディアを一方的に享受する立場であった。しかし、近年のデジタル機器の普及や、インターネット環境の整備により従来の受け手が容易に情報を発信できるようになった。誰もがメディアの送り手となれる時代が到来したのだ。

今回の特集は“メディアを活用した地域づくり”である。

先の震災において安否確認や生活情報の配信等で地域メディアが果たした役割は大きく、地域の中でローカルなメディアの重要性はますます高まっている。また、外に向けての観光、特産品宣伝等の情報発信は地域に大きな可能性をもたらす。しかし、一方で自らが情報の送り手となることに戸惑い、持て余してしまう地域も少なくない。どのように地域に役立てればいいのか、発信すべき地域情報とは。

今回の特集では自治体、民間団体、テレビ局等の様々な主体の取り組みを紹介するが、どの取り組みでも中心にいるのは地域を良くしようという熱意を持った「人」である。地域は人が作るものであり、それを発信するのもまた人である。彼らの目指すもの、それに懸ける熱意が迷える地域へのヒントとなり、メディアを活用した地域づくりが愛媛で花開くきっかけとなれば幸いである。

（研究員　大政　太）

■表紙のことば

全国には○○甲子園と呼ばれる部活がある。書道パフォーマンス甲子園が四国中央市に生まれ、絆をテーマに四回目を迎えた。開催され間もなく映画化され全国に発信。地産の紙を全国に広めようと始めた。学生たちの気合いの入ったパフォーマンスには、書の“静”という形ではなく、掛け声から始まり、鳴り物、ダンスありで、筆跡が大きな紙を走る光景と若さ、エネルギーに吸い寄せられる。出場校も増えることを祈り、拍手を送る。

柳原あやこ

●アングル
違った目線で地域を見よ～北海道からのエール～
藤村　忠寿／北海道テレビ放送　コンテンツ事業室　スペシャリスト　1

●特集／メディアを活用した地域づくり
地域メディアプロデューサーを活用した新たな情報発信の取り組み
有田　秀司／えひめ産業振興財団　企画情報課長　4
コミュニティ放送“FMラヂオバリバリ”の取り組み
黒田　周子／今治コミュニティ放送　代表取締役　6
連続ドラマで地域の魅力発信～西予市12ヶ月の詩～
三好　一樹／西予市　企画調整課　8
メディアを利用した地域づくり
～紙のまち「四国中央市」の場合～
篠原　知子／四国中央市教育委員会　文化図書課長　10
もぎたてテレビ1000回と愛媛
大西　康司／南海放送　テレビ局長　12
おらがふるさとをコマーシャルに
西　昭比古／愛媛朝日テレビ　経営企画室　プロデューサー　14

●論壇
多様で豊かな物語を地域に
小川　明子／愛知淑徳大学　メディアプロデュース学部准教授　16

●特選ブログ／ shin 1 さんの日記
メディアを活用した地域づくりあれこれ
若松　進一／人間牧場主・年輪塾々長　18

●“MY TOWN”うぉっちんぐ
ニュー・シネマ・パラダイス…伊方編
岡崎　直司／タウンツーリズム講座主宰・ヘリテージマネージャー　20

●キラリ光るまち
人・自然・文化がつながる里山「田滝」
谷口　晃／西条市立田滝小学校　校長　22

●センターの取り組み①
結婚支援は地域活性化の重要なツール
～「過疎・離島地域結婚サポート強化推進事業」中間報告～
須山　広周／えひめ地域政策研究センター　主任研究員　24

●センターの取り組み②
近代化えひめ歴史遺産総合調査事業について
土岐　博史／えひめ地域政策研究センター　研究員　26

●研究員卒業レポート
地域づくりを知る
～えひめ地域政策研究センターでの勤務を通じて～
近藤　誠護（伊予銀行）／えひめ地域政策研究センター　客員研究員　28